**「こども未来戦略方針」が発表されました**

令和5年6月13日に「こども未来戦略方針」が発表されました。

＊内閣官房HP　<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo_mirai/pdf/kakugikettei_20230613.pdf>

３つの基本理念として以下があげられています。

（１）若い世代の所得を増やす

（２）社会全体の構造・意識を変える

（３）全てのこども・子育て世代を切れ目なく支援する

さまざまな施策が盛り込まれていますが、ニュースで一番取り上げられているのは児童手当について

でしょうか。

私としては「こども誰でも通園制度」が一番気になっています。

保護者の就労時間を問わず、誰でも時間単位で保育所を利用できるようにするもので、令和8年度から全国で実施する方向とのことです。

すでにモデル事業を実施している自治体もあり、私の居住区でも申し込みが殺到しているという記事が載っていました。

「地域に開かれた園を目指す」ことは園方針でもあり、すべてのご家庭のお役に立ちたいという想いはありますが、一方で園に通う子ども達の安定した生活を守りたいという気持ちもあります。

信頼関係が出来ていないお子さんを安全にお預かりするのは簡単なことではありませんし、いろいろな人がいろいろな時間に出入りする生活が子どもにどう影響を及ぼすのか懸念があります。

導入に向けて話し合いが続けられると思いますが、子どもの心を置き去りにしないでほしいと強く願います。

今回の方針は、子育て支援にはなるかもしれないが少子化対策になるのか、という課題も投げかけ

られています。園の運営についても考えながら、今後の動向に注目していきます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（飯塚）